

教科名	Dignity	科 目 名	Dignity
対象学年	中学 1 年	コース・選択等	——
単位数	2 単位	教 科 書 (出版社)	
使用教材	言葉のワークブック 2 (つくば言語技術研究所) 探究スタートアップ (JTB)		
学習の ねらい	①社会情動的倫理的学びを通して、自身や他者を理解する。 ②自分の気持ちや考え方を認識し、分析することで自分のモノの見方・考え方を発見する。 ③パラグラフライティングの基本を習得する。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ねらい・留意点
	1 学 期	SEEラーニング リフレクションの手法 言語スキル	・社会情動的倫理的学びを通して、自身や他者を理解する。 ・自分の気持ちや考え方を認識し、分析することで自分のモノの見方・考え方を発見する。 ・パラグラフライティングの基本を身につける。
	2 学 期	SEEラーニング リフレクションの手法 言語スキル 研究スキル	・社会情動的倫理的学びを通して、自身の感情を客観的にとらえる。 ・パラグラフライティングの練習を重ねる。 ・探究活動の基礎を習得する。
	3 学 期	SEEラーニング リフレクションの手法 言語スキル 研究スキル	・自身や他者を理解し、探究活動を通して非認知能力を育成する。 ・1年間の学びを振り返るとともに、自分の主張を論理的にまとめて発表する。
学習の 留意点・ 評価など	非認知能力の育成とともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、探究活動を行う。 また、その結果を作品やプレゼンテーションなどで共有や発表を行う。		
評価の 観点			

教科名	Dignity	科目名	Dignity
対象学年	中学2年	コース・選択等	——
単位数	1単位	教科書 (出版社)	
使用教材	言葉のワークブック2（つくば言語技術研究所） 課題研究メソッドZERO（啓林館） 探究スタートアップ（JTB）		
学習のねらい	①社会情動的倫理的学びを通して、自身や他者を理解する。 ②自分の気持ちや考え方を認識し、分析することで自分のモノの見方・考え方を発見する。 ③他者と協力しながら、問題の解決方法を考察する。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	1学期	SEEラーニング リフレクションの手法 研究スキル 問題解決型学習	・社会情動的倫理的学びを通して、自身や他者を理解する。 ・自分の気持ちや考え方を認識し、分析することで自分のモノの見方・考え方を発見する。 ・探究活動の基礎を習得する。 ・与えられた問いに対して、どのようなアプローチが必要なのかを分析する。
	2学期	SEEラーニング 問題解決型学習	・社会情動的倫理的学びを通して、自身の感情を客観的にとらえる。 ・与えられた問いに対して、他者と協力して必要な情報を集め、分析し、考察する。
	3学期	SEEラーニング 問題解決型学習 プレゼンテーション	・自身や他者を理解し、探究活動を通して非認知能力を育成する。 ・問いに対する主張をまとめ、作品作りやプレゼンテーションによって共有や発表を行う。
学習の留意点・評価など	非認知能力の育成とともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、他者と協力して探究活動を行う。また、その結果を作品やプレゼンテーションなどで共有や発表を行う。		
評価の観点			

教科名	Dignity	科 目 名	Dignity
対象学年	中学 3 年	コース・選択等	——
単位数	1 単位	教 科 書 (出版社)	
使用教材	言葉のワークブック 2 (つくば言語技術研究所) 課題研究メソッド (啓林館) 探究スタートアップ (JTB)		
学習の ねらい	①社会情動的倫理的学びを通して、自身や他者を理解する。 ②自分の気持ちや考え方を認識し、分析することで自分のモノの見方・考え方を発見する。 ③他者と協力しながら、プロジェクトをやり遂げる。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い
	1 学 期	SEEラーニング 研究スキル プロジェクト型学習	・社会情動的倫理的学びを通して、自身や他者を理解する。 ・探究活動の基礎を習得する。 ・与えられたプロジェクトに対して、様々な視点から問いを考え、どのようなアプローチが必要なのかを分析する。
	2 学 期	SEEラーニング プロジェクト型学習	・社会情動的倫理的学びを通して、自身の感情を客観的にとらえる。 ・自ら考えた問いに対して、他者と協力して必要な情報を集め、分析し、考察する。
	3 学 期	SEEラーニング プロジェクト型学習 プレゼンテーション	・自身や他者を理解し、探究活動を通して非認知能力を育成する。 ・問いに対する主張をまとめ、作品作りやプレゼンテーションによって共有や発表を行う。
学習の 留意点・ 評価など	非認知能力の育成とともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、他者と協力して探究活動を行う。また、その結果を作品やプレゼンテーションなどで共有や発表を行う。		
評価の 観点			

教科名		Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～				
対象学年		高校1年	コース・選択等			
単位数		1単位	教科書 (出版社)			
使用教材		ワークシート各種				
学習のねらい		「well-beingな世界をつくる」を探究テーマとして、カードゲームをつくり、Well-beingな社会づくりに貢献するカードゲームをつくり、そのカードゲームが誰かの学びや、困りごとの解決に役立つことを目指します。そして、その結果、日々の生活の中に笑顔が生まれ、Well-beingな人が増えていく世界を創り出します。				
特に習得されるべきスキル		・ 自己理解の力／自分が何に興味を持っているかに気づく力 ・ 困難な状況でも自分を責めすぎず、気持ちを整えながら前に進む力 ・ 他者の思いや立場を理解し、対話や協力によって関係を築く力 ・ 他者や社会に対する思いやりの心を持ち、感謝を表現できる力 ・ 自分が社会や自然の一部であることを理解し、多様なつながりを意識する力 ・ 物事を多面的に捉え、論理的に考え、自分の考えを他者に伝える力				
学習内容と流れ	学期・月等	単元	学習内容	科学的思考	表現	協働
	4月	オリエンテーション	一年間の授業の予定、Dignityの目的、ルールを理解する。 パラグラフライティング：わたしをつくるアトリエでやってみたいこと		○	
		対話のスキル	対話力・自己理解力を高めるNon Violent Communicationの手法を経験する。 年間を通してNVCを随時行う。		○	○
		リフレクション	探究スタートアップ1：違いから発見する	○	○	○
	5月	探究の仕事 リフレクション	探究は、どのような活動（仕事）から構成されているかを知る。その上で、中3のDignityの活動を振り返る。	○	○	○
		リフレクション	探究スタートアップ2：共感から発見する	○	○	○
	6月	わたしをDigる 自分との対話 他者との対話	「beの肩書」の手法を使って、自分を深掘する。 他者との対話を通して自分を深掘りして、自分を表現するオリジナル名刺を作成する。名刺交換会を行い、他者と対話する。		○	○
	7月	プロジェクト： カードゲーム	先輩がつくったカードゲームをやってみる。 クリティークを練習する。親切で具体的で役に立つフィードバックとは何かを考える。		○	○
		リフレクション	1学期の活動を振り返る。		○	
	8月	情報収集	関心のある社会課題を見つけて記録する	○	○	

学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	学習内容	科学的 思考	表現	協働
	9 月	リフレクション	探究スタートアップ3：モヤモヤから発見する		○	○
		プロジェクト： カードゲーム 情報収集	・夏休みに集めた情報を共有する。 ・市販のカードゲームをやってみる。 →それぞれのゲームの特徴をつかむ。 プレイヤーの言動や表情を観察する。	○	○	○
	10月	プロジェクト： カードゲーム プロトタイプ1	・アイデア出し ・プロトタイプ1をつくる→試す→クリティーク	○	○	○
	11月	プロトタイプ2	・企画書をつくる ・プロトタイプ1を改良する→試す→クリティーク	○	○	○
	12月					
		リフレクション	探究スタートアップ4：強みから発見する	○	○	○
	1 月	カードゲーム完成	・プロトタイプ2を改良する→試す→クリティーク ・ゲーム大会に向けて、カードゲームを紹介する 文章を書く。（個人→チーム）	○	○	○
	2 月	発表会準備	ゲーム大会の準備をする。		○	○
		研究発表	1 年 2 年合同Dignity研究発表会		○	○
リフレクション		1 年間の活動を振り返り、自己評価をする。		○		
学習の 留意点・ 評価など		自分・他者の声を聴き、自己理解・他者理解を深める。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。				

教科名		Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～				
対象学年		高校2年	コース・選択等	コースⅠ		
単位数		2単位	教科書 (出版社)			
使用教材		ワークシート各種				
学習のねらい		「わたし」「他者」これらを取り巻く「システム」に気づき理解する。わたしと他者に気づき、安心安全の学びの場をつくるために、Non Violent Communicationのトレーニングを継続して行う。メインプロジェクトとして企業に提示していただくリアルな社会課題を探究する。探究を通して、社会課題を構成する諸要素とその相互依存性を理解する。社会で使うことができる生きた力を養う。				
特に習得されるべきスキル		・ 自己理解の力／自分が何に興味を持っているかに気づく力 ・ 困難な状況でも自分を責めすぎず、気持ちを整えながら前に進む力 ・ 他者の思いや立場を理解し、対話や協力によって関係を築く力 ・ 他者や社会に対する思いやりの心を持ち、感謝を表現できる力 ・ 自分が社会や自然の一部であることを理解し、多様なつながりを意識する力 ・ 物事を多面的に捉え、論理的に考え、自分の考えを他者に伝える力				
学習内容と流れ	学期・月等	単 元	学習内容	科学的思考	表現	協働
	4月	オリエンテーション	一年間の授業の予定、Dignityの目的、ルールを理解する。 探究に必要な仕事を確認する。			
		気づきの感度を上げる	ワークショップ：Feel度Walkを行う。榮光館を探索し、普段見過ごしているものに気づき、知図を作成する。	○	○	○
	5月	わたしを深堀る	ワークショップ：beの肩書を行う。Doの肩書（何をしている人か）ではなく、beの肩書(何が好きで、何をしたい人か)を言語化し、名刺を作成する。		○	○
	6月 7月	わたしを深堀る	わたしを深ぼり、わたしを表すウイルスを描く。		○	○
		システム思考とデザイン	システム思考の視点から、人や出来事がつながり合っていることを学び、自分と社会の関わりや相互依存の関係性について理解を深める。 システム・デザイナーの方による講演とワークショップを行う。 講演：デザインの力を実施する	○	○	○
	8月	リサーチ	学部・学科に関する情報を収集する。	○		
	9月 10月	プロジェクト：企業の課題	企業から提示された多様なテーマにグループで取り組み、協働しながら思考・調査・表現活動を行う中で、自分の興味や関心を深め、学びを社会とつなげる力を育てる。	○	○	○
11月	中間発表	研究の中間発表をして、質疑応答する。		○	○	

学期・月等	単 元	学習内容	科学的思考	表現	協働
1 月	プロジェクト：企業の課題	中間発表で得た意見や気づきをもとに、チームで対話をし、研究をブラッシュアップする。	○	○	○
2 月	研究成果のまとめ	1年間の研究成果の発表に向けて準備をする。	○	○	○
	研究発表	コースⅠ 合同研究発表会 1年2年合同Dignity研究発表会		○	○
	リフレクション	1年間の活動をループリックを使って自己評価をする。	○		
学習の留意点・評価など	多様な価値観を尊重し、安心して対話・表現できる場づくりを意識する。自己理解と他者理解を深めるプロセスを丁寧に支援する。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。				

教科名		Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～				
対象学年		高校2年	コース・選択等	コースⅡ・Ⅲ		
単位数		1単位	教科書 (出版社)	――		
使用教材		ワークシート各種				
学習の ねらい		1年生で習得したスキルを活用して研究を行う。研究を通して、研究法を学ぶとともに、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。				
特に習得 されるべ きスキル		・自分の好きをみつけることができる。 ・well-beingな社会をつくるためのリサーチクエスト（具体的な問い）を立てることができる。 ・協働的な学びの価値に気づき、積極的に対話や質疑応答をすることができる。 ・リフレクションの価値に気づき、体験した探究活動を振り返り言語化することができる。 ・適切なデータを収集して分析し、事実に基づく理由を添えてリサーチクエストに答えることができる。				
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	学習内容	科学的 思考	表現	協働
	1学期 4月	オリエンテーション	・興味のある分野から自分の興味のあるキーワードを見つけて「わたしの好き」を知る。	○	○	○
	5月	基礎リサーチ	・それぞれの「わたしの好き」を共有する。			
	6月		<グループ研究に向けて> ・実験／調査のリテラシーを学ぶ ・データの分析／考察の練習 ・アンケート作成演習	○	○	○
	7月		・グループ研究テーマ決め ・先行研究調査	○	○	○
	8月	夏休み	・先行研究調査	○	○	
	2学期 9月	リサーチ	・グループ編成 ・研究分野決め ・研究計画作成	○	○	○
	10月		・研究計画作成 ・合同中間発表	○	○	○
	11月		・調査、分析、考察	○	○	○
	12月					
	3学期 1月		・発表のための準備	○	○	○
	2月	小論文	・合同研究発表会	○	○	
	3月		・1年の振り返り		○	

**学習の
留意点・
評価など**

- ・教科学習で習得した知識を活かして研究に取り組むように導く。
- ・感覚的な考察ではなく、データに基づくエビデンスを常に求めさせる。
- ・評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。

教科名		Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～				
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅠ		
単位数		1単位	教科書 (出版社)			
使用教材		ワークシート各種				
学習の ねらい		1年生と2年生で習得した研究スキルを活用し、個々に研究に取り組む。研究を通して、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。				
特に習得 されるべ きスキル		・ 明確な問いを設定し、その問いに答える力 ・ 適切な情報を収集し、批判的に分析する力 ・ 自分の意見に理由や根拠を添えながら、わかりやすく筋道を立てて論を展開する力				
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	学習内容	科学的 思考	表現	協働
	4月	オリエンテーション	1年間の授業の予定を説明する。 経験から自分の興味関心を深掘りする。		○	○
		わたしを深掘る 大学の学科調べ	大学のパンフレットを参考に、自分の興味関心と 学科を繋げる。	○	○	
	5月	大学の学科調べ 中間発表	各学科の特徴を調べ、まとめて発表する。		○	
	6・7 月	スライド作成 志望理由書	進学を希望する学科やゼミではどのような活動が 行われているのかをさらに調べ、大学でやりたい ことを明確にする。そのまとめとして、スライド を作成する。 7月までの活動を参考に、希望する学部学科の志 望理由書を書く。	○	○	
	9月	最終発表 面接に向けた準備	スライドを完成させ、発表の準備をする。最終発 表を行う。 これまでの活動をまとめ、面接に向けた準備をす る。		○	
学習の 留意点・ 評価など		教科学習で習得した知識を活かしながら取り組むように導く。 評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシート等を用いる。 10月以降は 高大接続型推薦予定者は、大学での授業に参加する。 上記以外の生徒は、受験対策用の希望講座別授業を受ける。 ただし、曜日変更で高大接続連携授業がない日は、各HRで面接準備や進路指導を行う。				

教科名		Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～				
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅡ・コースⅢ		
単位数		1単位	教科書 (出版社)			
使用教材		ワークシート各種				
学習のねらい		1年生と2年生で習得した研究スキルを活用し、個々に研究に取り組む。また自分自身の内面に対して、これまで習得した技術を用いて自己分析を行い、将来にいかしていく。				
特に習得されるべきスキル		・問いを設定する力 ・わかりやすく理由や根拠を添えながら、自身が行った研究をまとめる力 ・協働的な学びの価値に気づき、積極的に対話や質疑応答をすることができる。 ・リフレクションの価値に気づき、体験した探究活動を振り返り言語化することができる。 ・批判的に資料を読み、判断して、研究のまとめに反映させる力 ・自分自身を客観的に見つめ、自分の内面を具体的に言語化する力				
学習内容と流れ	学期・月等	単 元	学習内容	科学的思考	表現	協働
	4月	オリエンテーション	1年間の授業の予定を説明する。研究のまとめの書式や下書き、提出期限等を確認する。		○	○
	5月	研究のまとめ	昨年度グループで行った研究を個人でまとめ上げる。	○	○	
	6月	自己分析 自己実現に向けた計画	自分自身の内面的なことに対して、分析を行い、自分に対する理解を深めていく。 希望する学部学科の志望理由書を書き、大学で何を学びたいのか、その理由は何かを明確にする。 これによって主体的な進路選択につなげる。 志望理由書を書き上げ、進路実現にいかしていく。	○	○	
	7月		自己実現に向けて、短期・長期的な計画を立てる。		○	
	9月	進路を考える	夏休み中に達成できたことを振り返り、これからの進路指導を行う。		○	
学習の留意点・評価など		教科学習で習得した知識を活かして、研究に取り組むように導く。テーマの設定に際しては、希望する学部や学科との関連性を考慮して決めるよう示唆する。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出された研究のまとめとワークシートを用いる。 10月以降高大接続型推薦予定者は、大学での授業に参加する。 上記以外の生徒は、受験対策用の希望講座別授業を受ける。 ただし、曜日変更で高大接続連携授業がない日は、各HRで面接準備や進路指導を行う。				